

東臼杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年6月 東臼杵農林振興局
(東臼杵南部農業改良普及センター)



東臼杵南部農業改良普及センター
ホームページ

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2、3)
 - 1 【全域】令和8年度農業経営指導士会南部支部総会の開催
 - 2 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】JAみやざき日向地区本部スイートピー部会総会で雇用者向け作業動画を説明
 - 3 【全域】日向・東臼杵農山村女性会議総会が開催
 - 4 【諸塚村】諸塚産紅茶の試飲会を実施
 - 5 【日向市・門川町・美郷町】スナップえんどう実績検討会の開催
 - 6 【全域】MIYAZAKI-GAP団体認証取得に向けた説明会の開催

- II 主な普及指導活動等の取組
 - 1 地域プランに基づく普及活動 (P 4、5、6)
 - 1 【日向市】促成きゅうりの次作に向けた面談を実施 (施策2:園芸産地の確立)
 - 2 【日向市・門川町】就農相談及び収支計画作成支援を実施 (施策2:園芸産地の確立)
 - 3 【全域】農業の事業承継に係る税務研修会を開催 (施策2:園芸産地の確立)
 - 4 【門川町】門川町蔬菜園芸振興会に多様な人材活用意向を調査 (施策2:園芸産地の確立)
 - 5 【美郷町】完熟きんかんの産地一体となった承継支援体制を部会で承認 (施策3:果樹の産地体制づくり)
 - 6 【美郷町・日向市】美郷町さいごう完熟金柑部会の園地巡回を実施 (施策3:果樹の産地体制づくり)
 - 7 【美郷町】県きんかん輸出プロジェクトの検討会を美郷町で開催 (施策3:果樹の産地体制づくり)
 - 8 【門川町】肉用牛繁殖経営体のライフプランの作成を支援 (施策4:肉用牛産地の維持)
 - 9 【美郷町】母牛給与設計の見直し協議 (施策4:肉用牛産地の維持)

 - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P 6)
 - 1 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】スイートピーのR7実績に基づく個人面談の実施
 - 2 【椎葉村】夏秋ミニトマト全戸巡回で初期管理を確認

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【全域】令和8年度農業経営指導士会南部支部総会の開催

15日に、普及センターで農業経営指導士会南部支部総会と意見交換会を開催しました。

総会は、9名が出席し、全ての議案が承認され、支部長及び副支部長の選任が行われました。

意見交換会では、担い手の育成確保及び地域農業の振興に向け、各々の指導士から地域の現状や課題について発言があり、特に農業研修生の受入や育成について経験を共有する有意義な場となりました。



【農業経営指導士会南部支部】

2 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】

JAみやざき日向地区本部スイートピー部会総会で雇用者向け作業動画を説明

19日、JA日向地区本部で、生産者6名と関係者13名が出席し、JAみやざき日向地区本部スイートピー部会総会が開催されました。総会では、活動実績と活動計画の審議が行われ、原案どおり承認されました。

普及センターからの情報提供として、雇用者向けに事例として作成した、スイートピーつる下ろし等の作業手順の解説動画を上映しました。

動画等の利用により、雇用者の作業手順の理解が深まり、高品質切り花生産につながることや、新たに雇用者を確保する際に、作業内容を紹介するツールとしても活用できることを提案しました。



【スイートピー部会総会】

3 【全域】日向・東臼杵農山村女性会議総会が開催

30日、普及センターで、日向・東臼杵農山村女性会議会員及び関係者16名が出席し、令和8年度総会及び研修会を開催しました。

総会では、活動実績や活動計画など4議案について審議され、原案どおり承認されました。

研修会では、林研グループの会員で、今年度から会長を務める、NPO法人の代表から竹林整備に一念発起し、竹灯籠づくりや体験型マルシェの開催などに前向きにチャレンジしている活動紹介があり、その後、意見交換を実施しました。

参加者からは、活動に感銘を受けたことや「まずはやってみることに」、「若い世代を巻き込む活動の重要性」、「伝統料理の技術継承に取り組み始めた」といった意見が出されるなど、次世代育成や地域活性化に向けた活発な意見交換となりました。



【日向・東臼杵農山村女性会議
総会】

4 【諸塚村】諸塚産紅茶の試飲会を実施

4日、諸塚村役場で生産者3名、実需者1名、関係者2名が参加し、5月に初めて試作製造した紅茶の試飲会を行いました。

実需者からは、消費者ニーズに基づいた具体的な意見をいただき、品質改善への方向性が明確になりました。

生産者も熱心に聞き入っており、この評価を反映した商品製造を7月に計画しています。



【紅茶の品質評価】

5 【日向市・門川町・美郷町】スナップえんどう実績検討会の開催

26日、JA日向地区本部で、JA管内の生産者7名と関係者5名が参加して、スナップえんどうの実績検討会が開催されました。

R8年産は、生産者14戸、出荷量29.5t（前年比91%）、販売金額31,156千円（89%）、平均単収1.9t/10aでした。

高温の影響による定植の遅れや2月以降の収量減はあったものの、12月と1月の収量が大きく伸びたため、過去5年間で最も高い単収となり、引き続き目標単収2.5tを目指していきます。

普及センターからは、栽培暦や防除暦の変更点などを丁寧に説明し、農薬の適正使用についての啓発も行いました。



【スナップえんどう実績検討会】

6 【全域】MIYAZAKI-GAP団体認証取得に向けた説明会の開催

25日、JA日向地区本部で、平兵衛酢部会とミニトマト専門部会の生産者16名と関係者7名が参加して、MIYAZAKI-GAPの団体認証取得に向けた説明会が行われました。

MIYAZAKI-GAP事務局から、ひなたGAPからの変更点や追加となった基準書の内容が説明されました。

両部会ではこれまで、ひなたGAPを取得していましたが、認定期限を過ぎたことから、今後はMIYAZAKI-GAPでの認証を目指しています。

参加者から認証のメリットについての質問が寄せられたほか、生産者同士で意見交換がされるなど活発な議論がなされ、新たなGAPに対する理解を深める良い機会となりました。



【MIYAZAKI-GAP説明会】

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組

1 地域プランに基づく普及活動

1 【日向市】促成きゅうりの次作に向けた面談を実施

10日、JA美々津支店でJAと、促成きゅうりの次作に向けた個別面談を実施しました。
今作は、1月から2月にかけて3月並の日射量に恵まれた一方で、4月から6月には長雨や曇天が続く等、不安定な気象条件となり、草勢維持や長期安定収穫が難しい年でした。
面談では、各生産者の今作実績と次作の目標収量の確認を行い、管理作業や時期毎に生じた課題を抽出した上で、目標達成に向けた具体的な取組や改善点の確認を行いました。
今回の面談で明らかとなった課題を踏まえて、次作も安定した収量を確保できるよう、定期的な巡回指導等を通して、支援していきます。

2 【日向市・門川町】就農相談及び収支計画作成支援を実施

今月は、就農希望者2名及び経営継承者1名に対し、関係機関と連携しながら、収支計画の作成を中心とした個別支援を実施しました。
施設きゅうりでの就農希望者に対しては、営農形態の最終調整を行うとともに、就農に向けた収支計画の作成を支援しました。また、露地みかんの経営承継者に対しては、前経営者の経営データを基に収支計画の作成を支援しました。
さらに、ニラでの就農希望者に対しては、8日に初回の就農相談を実施し、就農に向けた意向を聞き取りました。その後、23日に収支計画の作成方法を説明し、自らで作成可能な部分から取り組むよう支援を行いました。
今後も、それぞれの進捗状況に応じた個別支援を継続し、円滑な就農及び就農後の定着に向けて支援を行っていきます。

3 【全域】農業の事業承継に係る税務研修会を開催

22日に、JA日向地区本部で、税理士を講師に招き、事業承継に係る税務研修会を開催しました。農業者10名、関係者18名が出席し、承継に伴う税務知識を修得する場となりました。
研修後のアンケートで、事業承継について相談を希望する方や、その相談内容が明らかになりました。
今後は各経営体に対する個別相談への対応等、円滑な承継の支援を行っていきます。



【事業承継に係る税務研修会】

4 【門川町】門川町蔬菜園芸振興会に多様な人材活用意向を調査

17日、門川町役場で、門川町蔬菜園芸振興会8名、関係者6名が参集し、農福連携や外国人材等の多様な人材活用の検討会が行われました。
同振興会は、施設園芸の雇用経営体で組織されていますが、他産業との競合もあり雇用人材の確保が大きな課題になっています。
このため、関連事業を活用しながら、アプリによる人材確保の試行など、多様な人材の確保に向けた取り組みを検討していく予定です。

5 【美郷町】完熟きんかんの産地一体となった承継支援体制を部会で承認

10日、美郷町西郷ニューホープセンターで、生産者30名、関係者30名が出席し、美郷町さいごう完熟金柑部会の研修会と総会が開催されました。

当日は、経営承継支援体制の構築に向け、役員と経営承継専門家と意見交換を実施した後に、部会全体での「持続可能な完熟金柑産地を実現する」と題した講演が行われ、地域ぐるみの経営承継について理解を図りました。

その後に開催された部会総会では、産地（部会・関係者）一体となった支援体制が全会一致で承認されました。

また、総会後の講習会では、普及センターから前年度の出荷実績に基づき、栽培管理の課題を共有し、今作の果実生産目標達成の意識付けを行いました。

あわせて2月に実施した台湾への輸出調査を報告し、現地での大玉果実への需要や、春節時期に合わせた取引の現状を共有しました。

生産者は、研修アンケートで承継への取組に関心が高く、また次作への栽培意欲を示すなど、活気ある総会となりました。



【金柑部会研修会】

6 【美郷町・日向市】美郷町さいごう完熟金柑部会の園地巡回を実施

22、24日に、関係者4名が参加し、部会員全戸の個別巡回を行いました。

園地の状況をみながら、生産者に対しこれまでの管理状況を聞き取り、今後の管理について説明を行いました。

今年是一部の園地で1番花の開花が1週間程度早い傾向であったものの、出蕾時期は6月の曇雨天により気温が低かった影響で、前作よりも遅く、バラツキが見られている園地もあります。

天候、外気温などに応じて、天井ビニルの開閉をするなどハウス内温度の確保を促し、充実した蕾を出させるように指導しました。



【きんかん全戸巡回】

7 【美郷町】県きんかん輸出プロジェクトの検討会を美郷町で開催

12日、県内各地のきんかん生産者13名と関係者20名が美郷町に参集し、きんかん輸出プロジェクト検討会が行われました。

室内検討では、県農業流通ブランド課から輸出プロジェクトのR7年の実績とR8年計画の説明があり、県内各地の栽培実証報告やリモート参加した宮崎県物産貿易振興センター香港事務所から台湾等での販売の報告がありました。

あわせて参加者全員で輸出先に応じた残留農薬基準を遵守した栽培について再確認しました。

現地検討では、美郷町のハウスで南那珂・西臼杵の生産者6名と管内7名の生産者が、高温対策や病虫害防除などの栽培管理についての活発な意見交換を行いました。



【きんかん輸出プロジェクト
での現地検討】

8 【門川町】肉用牛繁殖経営体のライフプランの作成を支援

11日に、門川町の肉用牛繁殖経営農業経営体1戸に対し、2か年のキャッシュフローをもとにライフプランの作成を支援しました。

経営課題を明確にし、今後の対策や将来のビジョンについて確認、意見交換を行いました。

今後も、経営改善に向けて支援を継続します。

9 【美郷町】母牛給与設計の見直し協議

12日、美郷町で生産者1名を対象に、担当獣医師を含む関係機関4名で母牛の飼料給与の見直しを協議しました。

飼料の種類や給与量、給与作業方法等を聞き取り、その変更の可否について協議した結果、農場の作業体系に合わせて、新たな飼料を追加した給与設計を提案することになりました。

今後は、獣医師と連携して給与設計案を作成し、改めて生産者に提案していきます。



【給与状況の聞き取り】

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】スイートピーのR7実績に基づく個人面談の実施

9、12日に、JAの支店等で、関係者2名でスイートピー生産者7名との個人面談を実施しました。

普及センターからは今作の出荷販売実績に基づくマトリクス分析結果や品種ごとの収量・単価等を説明し、次作に向けた課題解決のための目標設定や品種の選定について支援を行いました。

また、土壌診断結果を基に施肥設計の提案を行いました。生産者からは、日々の栽培管理や防除・肥培管理における具体的な技術改善の方針が語られ、次作への意欲的な姿勢がうかがえました。



【スイートピー個人面談】

2 【椎葉村】夏秋ミニトマト全戸巡回で初期管理を確認

8、9日に、村・JAと合同で、夏秋ミニトマト生産者21名の園地を巡回し、定植時期や生育状況の確認と、栽培管理指導を実施しました。

生育が早い園地では、5段目の花房が開花し、6月末から収穫・出荷開始となることを確認しました。

定植後の生育は順調ですが、一部で梅雨や曇天の影響により日照不足が生じ、生育停滞が見られたため、回復に向けた栽培管理を助言しました。

新規就農者1名も順調に管理が実践できており、今後も安定収穫に向けて連携して支援します。



【生育初期のミニトマト
管理状況の確認】